

平成30年度

事業報告書

社会福祉法人 福陽会

特別養護老人ホーム サンシャインビラ

短期入所生活介護 (ショートステイ)

平成30年度事業報告(総括)

1. 基本目標

本年度の重点目標である「笑顔を絶やさず、喜びを引き出そう！」を合言葉に全職員で取り組み、利用者様の個性を大切に『その方らしい生活』を支援し、利用者様も職員も笑顔多く過ごすことができました。

福陽会基本理念

- ① 利用者様の心身共に健康な生活を保持する
- ② 利用者様の個性を尊重した生活を配慮する
- ③ 生活に希望と生き甲斐を持てるよう環境の整備と季節感ある行事を行なう
を全員で朝礼において唱和することで新人職員にまでも周知ができました。

年間を通しての利用者様は以下の通りである。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2977	3087	2977	3046	3019	2936	3062	3072	3091	3081	2807	3098	36143

年間延利用者数 36143 人でした。

平成30年度は1年間365日でしたので、1日平均99.02人の利用者様にケアを提供させていただいた結果となりました。

平成31年3月31日現在において、要介護4の方が34名・要介護5の方が52名と入所者の86%を要介護状態の重度の方が占めています。

ターミナルケアの希望も多くあり、22名の方を看取らせていただきました。医療ニーズは今年度も高く、施設顧問医師への依存度が大きくありました。ターミナルケアにより看取らせていただいた利用者様のご家族様等から感謝の言葉や満足の言葉を多くいただき、職員一同の励みとなりました。また、今年度の大きな出来事として、エレベーターのリニューアル工事がありました。約一か月程の間、エレベーターの使用ができず利用者様にもご家族様等にもご迷惑をおかけすることになりましたが、皆様のご理解とご協力により、無事にリニューアル工事が終了しました。安全性が高まり、安心して使えるようになり、エレベーターがきれいに生まれ変わりました。

2. 基本方針

基本方針である「明るい笑顔の絶えない家族・ふれあいのある大きな家庭づくり」を目標に地域社会との交流を深めました。

- ・職員ひとりひとりが利用者様の意向を把握し、尊重するケア提供を行いました。
- ・各行事、地域の方々に参加していただき、地域との交流を深めました。
- ・尊厳を保持し、自立を支援ができるように介護職員の内部研修とOJTを強化しました。

3. 長期目標

- (1) 法人理念の実現向け、法人内の各事業所同志が連携を強化しました。
- (2) 地域との交流を大切にし、地域の福祉ニーズに応えるべく努力しました。
緊急の入所等に対応する体制をつくりました。
- (3) 職員間で情報の共有ができました。

職 員 構 成

平成 31 年 3 月 31 日現在

担 当 職	職 名	職 員	非 常 勤	
運 営 管 理	設 顧 問 医		1	
	産 業 医		1 (外部委託)	
	施 設 長	1		
経 理	事 務 長	1		
	事 務 員	1	1	
保 守 管 理	介 助 員	1	1	
介 護	生 活 相 談 員	1	1 (兼務)	
	ケアマネージャー	2 (兼務)	1 (兼務)	
	1 F	リーダー	1	4
		担 当 者	8	
	2 F	リーダー	1	7
		担 当 者	5	
	3 F	リーダー	1	8
		担 当 者	7	
医 務	医 師	—	1 (施設顧問医) 2 (外部委託)	
	看 護 主 任	1	—	
	看 護 師	3	—	
	准 看 護 師	1	1	
調 理	管 理 栄 養 士	1	—	
	調 理 員 リーダー	1	2	
	調 理 員	4		
機 能 訓 練	柔 道 整 復 師	1	—	
	理 学 療 法 士	—	1	

会議・懇談会・委員会開催状況報告書

介護保険法とその他法令や条例等を理解し、利用者様の安心で安全な生活支援を行うために職員間で共通の認識を持つために各種会議と委員会を行いました。

・運営会議	12回	・拘束廃止委員会	12回
・衛生会議	12回	・褥そう防止委員会	12回
・感染症対策会議	12回	・厨房委員会	12回
・衛生委員会	12回	・口腔衛生管理委員会	17回
・全体会議	12回	・排せつ委員会	4回
・入所判定会議	35回	・介護課程推進委員会	12回
・事故防止会議	48回	・見守り機器委員会	4回
・看取り介護会議	77回	・看護と介護の連携委員会	4回
・虐待防止会議	11回	・活動責任者委員会	2回
・苦情対策会議	11回	・サービスマナー委員会	1回
・栄養会議	48回	・職員福利厚生委員会	2回
・防災会議	13回	・その他会議	21回
・行事計画会議	12回	・利用者懇談会	6回
・ケアプラン会議	88回	・主任リーダー会議	15回

職員の健康管理・労働環境の整備等労働衛生管理

(1) 定期健康診断の実施

従前より、対象となる全職員に対し、労働安全衛生法上の定期健康診断を行っています。

30年度は、4月に64名、11月に夜勤業務を行う職員等34名が受診しました。

(2) 定期健康診断後の面接と結果に基づく保健指導等

定期健康診断の結果が明らかになる時期に、日本医師会認定産業医 高妻雅和医師((以下 産業医と表記)により 有所見者を対象に面接を行い、個別に健康教育・保健指導等が実施されました。

(3) 衛生会議の実施

月に一度、施設顧問医師の指導・助言により、衛生管理者が有所見の改善に向けた食生活等に関するプリントを配布し、健康管理に関する情報の提供を継続的に実施しています。

(4) 館内の労働環境整備

- ① 年間を通じて空調整備を行い、インフルエンザ・ノロウイルス等の感染症対策・利用者及び職員の体調管理の為に、温湿度管理やカビ対策を行っています。感染症が発生した場合は、蔓延防止の為に指針を踏まえ各職員が機動的に行動できるように看護主任を中心に、網羅的な研修・指導を行います。
- ② 労働災害について対策を立て、職員全員で努力を継続しており、職員に危険が及ぶ状態にあると思われる備品・設備については、早めの報告により事故発生の防止に努めています。

職員の事故防止の為に日々、設備・備品の点検を行い不備や不具合にできる限り迅速に対応しています。

(5) メンタルヘルスについて

10月に外部委託により、対象となる職員全員にストレスチェックを実施し、結果を集計しました。

今後も、産業医からの指導を全職員に周知する為の努力をはじめとし、職員一人一人が施設内の変化を広い視野で把握し、先見性を持った対応による労働環境改善ができるよう、実践的な労働衛生管理計画作成を継続します。

利用者外出・外泊・面会状況

	外 出		外 泊		面 会		
	人 数	延回数	人 数	延日数	対利用者	延人数	1日平均
4	39	13	0	0	75	330	11, 0
5	21	12	1	6	68	321	10, 3
6	5	2	0	0	62	302	10, 6
7	4	2	1	3	75	354	11, 4
8	7	3	1	5	71	377	12, 2
9	15	6	1	3	63	347	11, 6
10	9	2	1	8	75	333	10, 7
11	5	1	0	0	75	344	11, 5
12	5	1	2	3	77	359	11, 6
1	12	5	2	7	64	386	12, 5
2	0	0	0	0	70	278	9, 9
3	0	0	0	0	73	301	9, 7
合 計	122	47	9	33	848	4032	約11人

保険者別入退所状況

市区町村	入 所		退 所 (含死亡)		合 計	
	男	女	男	女	入 所	退 所
昭島市	1	2	0	2	3	2
あきる野市	1	1	0	0	2	0
三鷹市	0	1	0	1	1	1
練馬区	0	1	0	0	1	0
小金井市	1	0	0	0	1	0
日野市	0	1	0	0	1	0
中野区	0	2	0	0	2	0
品川区	0	0	1	0	0	1
町田市	0	1	0	0	1	0
小平市	0	1	0	0	1	0
八王子市	0	1	0	0	1	0
大田区	0	1	0	0	1	0
調布市	0	1	0	1	1	1
岩手県北上市	0	0	0	1	0	1
福生市	2	3	7	10	5	17
羽村市	0	0	0	1	0	1
立川市	0	0	0	1	0	1
新宿区	0	0	1	0	0	1
目黒区	0	1	0	1	1	1
世田谷区	0	4	0	0	4	0
合計	5	21	9	18	26	27

看 護

1、医務診察

定期的な医務診察時、医師の診療を補助し健康管理・内服管理・処置等を迅速かつ適正に処理しました。

- ① 内科 水曜日 青山美穂医師（施設顧問医師）
 木曜日 宗岡雅子医師
- ② 精神科 月曜日 高妻雅和医師
- ③ 歯科 火・金曜日 若林偵子歯科医師

2、利用者の健康管理

① 月1回は医師の診察を受け、バイタルサインを測定し、経過報告をしました。

3、年一回の利用者健康診断を平成30年5月15日（火）に100名の利用者様が受けました。

4、新入所の利用者様には入所時健診を、ご家族様等に説明し同意のもとで受けていただきました。

健康診断の結果は施設顧問医師がご家族等へ説明していただきました。

また、入所時にご家族様等は「緊急時・看取り介護時の医療行為等に関する意思確認書」と「看取り介護についての同意書」の説明を施設顧問医師から受け、同意の書類を作成しました。

5、外部の医療機関受診や入院等は、ご家族様等の意向を尊重し相談しながら進めました。

6、利用者様・ご家族等の希望を確認し、インフルエンザ予防接種を実施しました。（100名）

7、肺炎球菌の予防接種も、ご家族様等の希望を確認した上で、平成30年度に対象者25名が接種しました。

8、利用者様の薬の管理と内服薬の服薬介助を行い、ナース不在時の朝薬等の服薬介助は介護職員に指導・依頼しています。

9、口腔ケアの実施

利用者様の健康を保持増進するため、歯科医師・歯科衛生士と連携を図りました。歯科医師・歯科衛生士・看護師・看護職員・管理栄養士・ケアマネ・介護職員等多職種でのミールラウンドの実施により誤嚥の防止に役立ちました。

・職員定期健康診断

職員は4月（全対象職員）と10月（夜勤業務に従事する職員）に健康診断を実施しました。

健診結果は安全衛生会議で施設顧問医師の青山美穂医師より全体指導があるとともに、異常所見に対しては、あきる台病院に委託している産業医の高妻雅和医師より個人面談指導がありました。

（10名）

・職員のインフルエンザ予防接種は体質的に接種が出来ない者以外は、全員接種しました。（56名）

・感染症対策

施設顧問医師の指導助言のもと、感染症に対する内部研修の実施とマニュアルの改訂、内容の厳守により、全職員の意識を高め確実な対応実施と自己管理の強化に努めました。

感染症を持ち込まないという意識をもち、職員一人一人が感染対策の基本をしっかりと行ったことで、利用者様のインフルエンザの発症はありませんでした。

・看取り介護の充実により、手厚い看取り介護の実施が出来ご家族様等から多くの感謝の言葉を頂きました。

・医師の診断のもと宣言にて利用者様・ご家族様等の希望により看取り介護を行いました。

平成 30 年度は 22 名の方を施設で看取らせていただきました。

- ・利用者様及びご家族等の意向を尊重し、多職種で連携して日々変化の様子をご家族様等へ密に連絡し、記録しました。
- ・看取り介護の終了後には、多職種で振り返りを行いました。
ご家族様等からは、多くの感謝の言葉をいただきました。
- ・その他

- ① 利用者様の心身の状態変化時等は、必ずご家族等に連絡をし、連絡時の内容等は記録に残しました。
- ② 長谷川式簡易スケールを用いて認知症の程度を確認し、医師に報告しました。
0 点以外の方は、概ね 3 ヶ月毎に確認しました。
- ③ 医療ニーズの高い利用者様も施設顧問医師を中心とする連携により生活していただくことが出来ました。(胃瘻からの経管栄養 1 名 バルンカテーテル 1 名)
- ④ バイタルサインや日々の状態変化は個人記録に入力して各部署との連携を強化しました。

生活相談員

平成 30 年度の全体目標は「笑顔を絶やさず、喜びを引き出そう」でした。生活相談員として、この目標を実現するために、第一に「利用者様及びご家族様に対して常に笑顔で接し、話しかけやすく、近づきやすい存在となること」また、第二に「利用者様が生活の中で様々な喜びを感じながら毎日を送れるよう支援すること」を課題として掲げ、業務にあたってきました。

利用者様の多くは、病気や障害によって不自由さや不安を感じておられます。さらに、施設という環境の中での生活は、制限の多いものです。苦情や不満がある方には、時間をとって話を伺い、解決を図りました。不満や悩みがあっても口に出せず、漠然とした不安感や気分の落ち込み等を十分に表現できない方たちもいます。じっくりと会話することでその方の思いを汲み取るように、対話を重視し、相談援助を行いました。

利用者様に一人一人が抱える困難さを理解し、思いを知り、他部署へ伝えることも生活相談員の役割と心得て、日々の業務に取り組みました。ただ、利用者様に大きな問題が起こるとその方に関わることが多くなり、ご家族様等との連絡も頻繁になります。大きな問題なく過ごされている方には、関わりが少なくなります。そのような方にも目を向け、時間をとって、信頼関係を築いていく必要があります。利用者様すべてに対して、公平性を保つことは、今後の課題の一つです。

「喜び」に繋がる分野として、年間を通して、様々な行事の計画や実施に携わりました。「外出の日」やドライブ、散歩、「手作りおやつ」を実施し、各種の活動にも協力しました。その中で利用者様の「喜び」を引き出すことができました。

また、これらの活動を通して、利用者様の興味や意向、希望を知ることができ、心理・社会面のアセスメントに役立てることもできました。

平成 30 年度、新しく入所された方は 26 名でした。居宅から 4 名、ショートステイ利用から 4 名、介護老人保健施設から 5 名、介護老人福祉施設（特養）から 1 名、病院から 8 名、有料老人ホームから 2 名、高齢者マンションから 1 名、障害者施設から 1 名でした。

また、福生市内の方は 6 名、都内の他市からは 11 名、区部からは 9 名で、以前に比べ様々な区や市から入所されるようになっていきます。介護老人福祉施設としての役割を果し、施設運営の安定化を

図るため、稼働率の安定に努めてきました。年間を通して、個人の入所相談・施設見学、様々な事業所・病院・市や区の担当者との情報交換や連絡調整等に取り組んできました。

西多摩地区全体の課題として、待機者の減少という問題はありますが、西多摩特養ガイド等を利用した23区や他市からの問い合わせは増加しています。

また、年間で退所された方は25名でした。内4名の方は入院されています。入所から退所の時まで、利用者様一人一人がその方らしく過ごせるように、支援を行いました。

利用者様とそこご家族様等の思いを受け止め、意向に沿えるように、他部署と連携を図って取り組みました。

平成30年度は、東京都社会福祉協議会生活相談員研修委員会の幹事として、秋川ブロックの他施設との連携を図り、都内の施設の様々な取り組みや課題を学ぶことができました。

介護支援専門員

- ・本年度目標「笑顔を絶やさず、喜びを引きだそう！」をケアプラン作成に反映できるよう意識しました。

業務を行う上で、今までと変わりはありませんが、介護支援専門員としての基本姿勢を意識させてくれる共通目標でもありました。

利用者様との関係を作っていくことを大切にし、お話を傾聴する姿勢を基本にし「この人は、私の話をしっかり聞いてくれる人」と思って頂けるよう努めました。

ケアプランの作成をする上では、利用者様の出来ない事や援助が必要なことは勿論のこと、「できる事＝その方の強み」と考え、その方らしさを支援していけるような内容で作成できるよう努めました。今後も多職種で協力しながら、取り組んでいきたいと思えます。

- ・定期のケアプラン見直し（三ヶ月、六ヶ月）実施は漏れなく行えました。また、状態変化に伴うケアプランの変更も行えたと考えています。
- ・会議日程の作成に関しては、ゆとりをもち五件程度までになるよう日程調整を行いました。
- ・ターミナルケア（看取りケア）、褥瘡ケア、ミールラウンド、適宜プラン作成が行えました。ターミナルケアの振り返りは、対応職員へのグリーフケア等、ひとつひとつのケースにつき、継続的に検討が必要であり、今後も取り組んでいきたいと思えます。褥瘡ケアについては、モニタリング指標を用い、作らない事を前提にリスクが高い方については予防策を策定しました。創部改善には各部署連携し対応をできるよう、今後もプランを作成します。
- ・ミールラウンドについては、経口からの安全な食事摂取が継続できるよう、各専門職が検討した結果を今後もプランに反映させていきます。
- ・緊急ショートステイの受け入れについても、可能な限り、柔軟に対応が行えたと思えます。各関係者の皆さんとも情報交換をし、ショートステイ利用期間中のプラン作成が行えました。
- ・介護保険の更新申請、認定調査への立ち合い、調査協力を都度行いました。今後もスムーズな介護保険更新が行えるよう、実施していきます。

1 階 フロアー

利用者様の生活の中で深く関わりを持ち「安心・安全」に生活が送れるように「笑顔を絶やさず喜びを引き出そう」を合言葉としてフロアー職員一丸となり取り組みました。

・居室担当の役割

利用者様の心身状況をアセスメントするということに対し、職員の自覚が高まったと感じる一年でした。個人記録への入力については職員の力量に差があると感じますので、責任をもって取り組めるよう指導していきます。また、整容面においては職員通しで声を掛け合い、協力して、充実を図りました。

・フロアーレク

食前に行う「嚥下体操」もレクと捉えて毎日毎食前に行うことにより、定着して楽しく行えています。大きな声を出したり、笑ったりとすることで誤嚥防止だけでなくフロアーの雰囲気明るくなるという効果もありました。月曜日と木曜日はカラオケの日とし、歌を唄ったり音楽を聴いたり体を動かしたりと、利用者様の生活を活性化することに役立ちました。

予定していたフロアー活動の実施ができませんでした。

・事故防止

一日のほとんどの時間をベッド上で過ごす方が多かった以前の1階フロアーが、少しずつ様変わりして、車椅子への移乗も軽介助で可能な方や、自力駆動で移動される方等も生活されるようになり転倒事故等のリスクが高まっています。ヒヤリハットの提出、検証、予防策の考察等により職員間の意識統一と周知徹底により事故を防止するとともに職員個々のスキル向上に取り組みました。食事についてもフロアーナースと連携し、多職種とともにケアプランを通しその方に適切な食形態で誤嚥を防止し、更に食事量の確保もできました。

フロアーリーダーは、常に業務が円滑に行えているか、利用者様の意思を尊重しているかと評価し安全な食事介助ができるように業務を組み立てました、

・感染症予防対策

食事前後の手指消毒は毎日の日課として定着しています。

標準感染予防策の徹底と内部研修で学んだことの周知徹底の成果として、インフルエンザの流行期にも感染を持ち込むことなく施設での発症はありませんでした。

新入所の方で入所直後にインフルエンザが判明しましたが感染の拡大はなく、その方も回復しました。

インフルエンザ以外の感染症の発症はありませんでした。

・人材育成

OJTにより、先輩が後輩に指導助言を行い育成に取り組みました。育成するということの難しさも感じました。不足面の指導や指摘を行い、指導等の後には振り返りや確認を行いました。

今後の課題として、想定外の事態となったときにも冷静に対処できる、考える力を養うことが今後の課題です。

・定型業務

介護力の向上を目指し、利用者状況に合わせた食事、排せつ、口腔ケア等を組み立てました。

・災害時に備えて

防災グッズはいつでも使える状態に整備し整えました。防災会議の内容を毎月フロアー職員に伝達し、防災意識を高めることができました。

・褥瘡の予防

ケアプラン会議に向け、リスクをアセスメントして、発生を予防しました。また、退院時に発生し病院から治らないまま退院されてきた方の状態をフロアーナースや多職種との連携により完治出来たことは、ご本人様の苦痛の軽減と職員の自信になりました。

・看取り介護

静養室が1階にあることから、お看取りをさせていただく機会が多くあることが1階フロアーの特徴です。

利用者様とご家族様等が望む形の最期であるようにという思いで、ケアさせていただきました。

ご遺族様からの感謝の言葉が職員の励みになりました。また、看取りは職員の精神的な負担も大きくあります。振り返りや内部研修などにより、職員の精神面への配慮に努めました。

・その他

フロアー全体の様子として、職員間がぎくしゃくした時期がありましたが、その時期を乗り越えたことで、チームワークが強くなり現在は前向きに進んでいます。利用者様と向き合い、職員全員で笑顔で仕事を進めるように取り組み、強いフロアー作りをしました。

2 階 フ ロ ア ー

「笑顔を絶やさず喜びを引き出そう！」を目標に、職員間で協力し合い取り組みました。

・尊厳を保持と自立の支援

フロアーの特性として、認知機能面での低下がおありであったとしても、ご自分の居室が分かるような方々が生活されています。その方々の生活支援では「意思の尊重」に重点をおきました。利用者様も職員も毎日が明るい気持ちで過ごせたとおもいます。

毎日の生活の中でのレクリエーション活動を充実することが課題として残りました。

少しの時間でも、少人数でも等と意識を持ち、利用者ニーズに合わせた活動支援が必要でした。年に1度と予定していたフロアー活動は来年度に持ち越します。

・居室担当の役割

利用者様の整容面に力を入れた一年間でした。

個人記録への日々の入力については、職員に力量の差がありました。

個人記録をもとにアセスメントし、施設サービス計画書の策定時にケアマネに提出し支援内容の検討に役立てました。

・事故防止

ヒヤリハットの検証を元に、再事故防止策として決めたルールや支援方法を実行し、事故となる事を防ぐ努力をしましたが、平成30年度は骨折事故が1件ありました。

・感染症の予防

内部研修により、標準感染予防策の徹底と感染予防に対する知識を得ることが出来ました。

インフルエンザの流行期にも利用者様のインフルエンザ発症がありませんでした。

年間を通しての標準感染予防策の周知と徹底は今後も必要不可欠です。

職員自身と職員の家族には、インフルエンザや風邪等に罹患した者もありましたが施設に持ち込むことはありませんでした。湿度管理と換気にも力を配り、環境整備の徹底を継続します。

・非常災害時に備えて

人命の救助を第1と考えて行動することが身に付いてたと思います。

3 階 フロアー

「笑顔を絶やさず喜びを引き出そう！」を合言葉に認知に障害を有する利用者様が安心して安全に毎日を過ごせるようにと、職員が一丸となり、支援を行いました。介護力の向上

・人材育成と介護力の向上

新入職の職員には、エルダーメンター制度により育成に取り組みました。新入職員の早期戦力化を目指してフロアー内のコミュニケーションを活発にして取り組み職員の活性化につながった 反面、新入職の職員にはきつい面もあったように感じ、反省する点もあります。

新入職の新人職員、中堅職員、ベテラン職員全ての職員が内部研修に参加し、支援方法の見直しや再確認ができ、知識と技術の向上が図れました。

職員の意見を大切に「提案」しやすい環境を作り、提案を形にするように取り組みました。

その後の結果についても話し合いを持ち、更に良い結果を求めて進みました。

・生活の活性化

職員は、内部研修や外部研修で認知症を学び、利用者様への理解を深め、その方に合ったコミュニケーション手段を用いてその方の気持ちを深く理解できるようにしました。

毎日の生活のメリハリを大切にし、日々のフロアーレクに重点を置きました。

食事前の嚥下体操、週 2 回のカラオケ、ボールゲームや歌集を使つての歌の会等を利用者様の意向を確認しながらレクリエーション活動の充実を図りました。

日常的な充実については、成果が出ましたが、フロアー予算を使つての活動が残念ながら実施できませんでした、次年度に合わせて企画、実施していきます。

・感染症の予防

食事前後の手洗い介助やトイレ誘導後の手洗い介助や手指消毒が定着しました。

また、フロアーの特性から消毒用の薬剤等は職員が個人個人常に携帯し頻繁な消毒を行った結果、平成 30 年度はインフルエンザ等の感染症を持ち込むこともなく、感染症の発症も蔓延もなく過ごせました。

職員の体調不良時は、必ず医療機関に受診し、その結果を施設に報告し、出勤の相談と調整をしました。そのことが、職員自身感染症の媒介者にならずに済んだ成果です。

・事故防止

ご自身で動くことができる利用者様の転倒等のヒヤリハットがたくさんありました。その都度検証し、原因に対する予防策を立て、予防策を皆で実行することにより重大な事故を防止しました。

しかし 1 名の方に 2 回の骨折事故があり、行政への届け出をしました。

・非常時に備えて

避難経路は常に片づけておき、整理整頓し、環境整備に力を入れました。防災グッズについても整備しいつでも使用できるようにし、職員間で周知徹底を図り、職員の防災意識を高めました。

・居室担当について

ちょっとした空き時間を有効に利用し、担当居室の環境整備をし、清潔な環境での生活を支援しました。担当利用者様の生活の様子や心身の状態を観察し記録しアセスメントに役立てました。

今後も、担当利用者様の生活に責任を持つという意識と自覚高めていきます。

・その他

今後も「不適切ケア」に対する認識と「虐待」に対する知識を持ち、認知症ケアを推進します。

リハビリ

利用者様の日々の身体状況の変化と精神面の変化をアセスメントし、心身状態に変化が見られた際には訓練内容の変更等を行い利用者様個々の状態に合った訓練を安全に気を付けて行いました。

日常生活に定着した個別機能訓練計画書を作成し、状態の変化に応じて多職種での意見交換を行い、計画書の内容を検討しつつ、理学療法、生活リハビリでの個別機能訓練を行いました。

「笑顔を絶やさず喜びを引き出そう！」を目標に他部署との意見交換も行うことができました。

- ・ 個別機能訓練の実施記録はパソコン入力し、情報を他職員と共有することで連携がスムーズとなり、利用者様の状況把握に役立てました。
- ・ ケアプラン会議に出席し各担当者と意見交換を行い状況に応じた訓練内容の再検討をしました。
- ・ 個別機能訓練計画の内容は、利用者様・ご家族様に説明し同意を得、計画書をお渡ししました。
- ・ 訓練を実施し、計画の長期目標と短期目標の達成を目指し、3ヶ月ごとに評価と達成度を確認し次の計画作成時に役立てることができました。
- ・ 利用者様の状態変化時には、看護師やケアマネ等と連携を図り、個別機能訓練計画の中止や変更を行い、変更時には利用者様、ご家族様へ説明をし、同意をいただきました。
- ・ 訓練内容については利用者様の要望、身体状況を考慮し、棒体操、平行棒、段昇降器、セラバンドなどを使用して訓練を行いました。
- ・ 季節感のある行事、その他活動を生活リハビリの一環と考え、行事や活動の準備等、利用者様が参加できるように働きかけを行い機能維持と活性化に役立てました。
- ・ 車椅子使用者のシーティングについても生活相談員、理学療法士、看護師等とニーズに合ったものを使用できるように検討し、利用者様の座位姿勢の安定、改善に取り組みました。
座位姿勢が安定しにくい方もおり、座り直し介助、シーティングについての内部研修などは継続し、利用者様の様々な状況に対応していきます。
- ・ 半期に一度の割でベッドと車椅子の点検を行いました。必要に応じて交換、修理、業者への修理依頼を行いました。また利用者様の状態に応じたのサイドレールの調整も行いました。
福祉用具の数などは下記に記します。
- ・ 歯科医師や歯科衛生士からミールラウンドの報告、訓練方法、姿勢保持の指導助言を受けて介護職員へ車椅子上での座位姿勢の指導や確認を行いました。
- ・ 感染症・事故防止・虐待防止・拘束の廃止等についての内部研修に参加し、他部署職員と共通の知識や認識を持ち、業務にあたりました。事故防止についてはヒヤリハットの検証に参加し事故の発生原因を検討し、再発防止策について多職種で話し合いを行いました。
虐待防止のためにアンケートの実施、集計、それを元に振り返りを行いました。
- ・ 褥瘡を防止するにあたり、利用者様の褥瘡予防、褥瘡を有する場合は早期の治癒を目指しました。
看護師等との連携を図り、皮膚状態の変化によっては、迅速にマットやクッション等の必要物品の変更などを行い、皮膚状態の悪化を防止しました。褥瘡予防具についても購入の検討、古いものから新しい物への入れ替え等を行いました。
- ・ 寝たきりの利用者様において、理学療法では関節可動域拡大訓練を中心に行いました。
また拘縮予防を図る為の体位やクッション等の当て方については外部研修へも参加し、介護職員に対し内部研修等を行い指導しました。
- ・ 災害については常に念頭に置き、訓練室内の環境整備、非常口、消火器等の位置の確認をし非常時の行動を意識しながら業務にあたりました。

(福祉用具一覧表)

車椅子	95台	
歩行器（シルバーカー含む）	16台	
杖（T字杖、多点杖）	13本	
ポータブルトイレ	6台	
体圧分散マット（ジェルマット含む）	22	
エアマット（自動体交機能付き含む）	11	
施設内のベッド数		
電動ベッド	103台	
手動ベッド	1台	
パイプベッド	1台	総数105台

栄 養

福陽会の理念をもとに旬の食材を取り入れた季節感のあるメニューや家庭的で温かみのある食事内容・境作り、衛生面等に配慮し安心安全な食事を提供することを目標に平成30年度は業務に臨んできました。次年度も引き続き、季節の食材を使用した献立、利用者様からの聞き取りで得られた意見や要望に沿える献立の作成を行います。調理方法や食材の硬さ、食べやすい大きさ等の情報を職員間でしっかりと共有し、器や盛り付け等、見た目からも「食いたい」と思っただけのような食事提供を目標に業務に取り組んでいきます。

食事を楽しんで召し上がって頂く為に、選択食や誕生日食・ラーメン(中華丼)の日の実施、季節に応じたおやつ提供、極細・ペースト食を召し上がる利用者様へ安全で見た目が良いソフト食の提供を次年度も継続していきます。

■選択食等通常メニューと異なる食事提供の実施結果

選択食（ラーメン炒飯の選択も含む）	: 月2回以上
誕生日食	: 月1回
変わりご飯（丼・混ぜご飯）	: 月2回以上
パン・麺の日	: 月2回以上

■予算管理

給食食材費の予算内運営を目標に、在庫管理の徹底や使用食材の見直しを行いました。次年度も食材ロスや使用頻度が多い食材の価格変動等に注意し予算内運営を目指します。

■利用者様の健康管理

月に1度の体重測定結果や年に1度の健康診断時アルブミン値・血液データの管理、食事摂取量の把握で利用者様の栄養状態を確認しました。栄養状態に問題がある場合は、施設顧問医師の医務診察やケアプラン会議の際に提起し医師の指導助言や多職種で話し合いを行い、状態改善や維持・向上に努めました。必要量を召し上がることが困難な利用者様に対し補食の提供を行い、負担を減らすことで経口摂取の維持ができていると考えます。

■感染症の予防

手洗い・うがいの徹底、厨房外へ出る際の服装、次亜塩素酸によるトイレの消毒、厨房内の衛生管理、厨房器具の消毒、体調チェックを行い、感染症予防に努め、厨房からの感染拡大に注意し取り組みました。その結果、ノロウイルス等の感染症・食中毒の発症はありませんでした。

■ヒヤリハット件数

前年度のヒヤリハット件数は合計で7件でした。

内容は、配膳ミス：5件 その他：2件（発注ミス・検品ミス）今年度のヒヤリハット件数は配膳ミス：5件 その他：2件（異物混入・配膳車移動時のミス）の合計7件、苦情1件（食材の硬さ）となりました。次年度も配膳ミスや怪我のないよう、お互いに声かけを行いながら、利用者様に安心安全な食事の提供ができるよう努力していきます。

職員外部研修参加状況

○外部研修への参加は、知識・技術の向上に役立ち、研修に参加者した職員から参加しなかった職員へ内容を伝達し、共通の認識を持てるようにしました。

4月26日	認知症介護基礎研修	1名参加
5月15日	特定給食施設 栄養管理講習会	1名参加
5月18日	安全運転管理者 定期総会並びに定期講習会	1名参加
5月20日	生活相談員研修委員会	1名参加
5月22日	安全運転管理者講習会	1名参加
5月23日	介護報酬請求事務に関する研修会（基礎編）	1名参加
5月25日	福生市介護保険事業者連絡協議会総会	1名参加
5月31日	特養経営支援補助金事務説明会	1名参加
6月29日	秋川ブロック平成30年度 第1回ブロック会	1名参加
6月29日	認知症に関する研修会	2名参加
6月30日	秋川ブロック生活相談員研修会	1名参加
6月30日	介護支援専門員専門研修課程Ⅱ	1名参加
7月18日	ソーシャルワーク研修会打ち合わせ	1名参加
7月30日	介護支援専門員専門研修課程Ⅱ	1名参加
8月9日	介護支援専門員専門研修課程Ⅱ	1名参加
8月20日	介護支援専門員専門研修課程Ⅱ	1名参加
8月22日	消防懇話会 定期総会及び懇親会	1名参加
	高齢者の食支援に関する研修会	1名参加
8月27日	介護支援専門員専門研修課程Ⅱ	1名参加
9月13日	社会福祉事業従事者 人権研修Ⅰ	1名参加
9月21日	生活相談員研修委員会	1名参加
10月16日	東京都老人福祉施設等感染症対策指導者養成研修	1名参加
10月19日	秋川・青梅合同ブロック会「看取り」研修会	1名参加
10月23日	社会福祉施設における労務管理講習会	1名参加
10月26日	東京都立福生高等学校定時制課程学校連絡協議会	1名参加
10月30日	AIによる高齢者の自立支援・重症化予防	2名参加
11月9日	防火の集い	1名参加
11月16日	生活相談員研修委員会	1名参加
	ソーシャルワーク研修会	1名参加
11月30日	介護報酬請求事務に関する研修会（応用編）	1名参加
12月7日	地域包括ケアと食べる幸せを守る栄養士の使命	1名参加

12月14日	秋川ブロック生活相談員研修会	1名参加
12月17日	秋川ブロック 第2回ブロック会	1名参加
1月12日	ソーシャルカフェ in 飯田橋 ～みんなが笑顔で前向きにいなる研修～	1名参加
1月16日	高齢者福祉施設の中堅職員のための能力開発研修会	3名参加
1月18日	生活相談員研修委員会	1名参加
2月5日	東京都立福生高等学校定時制課程学校連絡協議会	1名参加
2月15日	秋川ブロック生活相談員研修会「情報・意見交換会」	1名参加
2月19日	介護支援専門員専門研修課程Ⅱ	1名参加
2月20日	平成30年度第2回指定更新事業者研修会 認知症介護基礎研修	1名参加
2月26日	介護支援専門員専門研修課程Ⅱ	1名参加
3月8日	生活相談員研修委員会 秋川ブロック 第3回ブロック会	1名参加
3月15日	生活相談員研修委員会 全大会 「生活相談員が施設の人財であるために」	1名参加
3月20日	介護支援専門員専門研修課程Ⅱ実務経験者向け更新研修	1名参加
3月26日	同上	
3月27日	同上	

内 部 研 修

職員としての心構え・基本理念・基本方針を正しく理解するために、研修委員会を中心に介護職員の知識と技術の向上と全職員の資質の向上に取り組みました。

サービスマナーの実践で「笑顔を絶やさず喜びを引き出そう」を実現できました。

4月25日	「法人理念・職業倫理」	4月27日	「守秘義務」
5月16日	「サービスマナー」	5月25日	「認知症」
6月22日	「感染症」	6月27日	「排せつ」
7月25日	「褥そう」	7月27日	「介護過程」
8月22日	「事故防止」	8月24日	「介護技術」
9月26日	「法人理念・職業倫理」	9月28日	「看取り介護」
10月24日	「サービスマナー」	10月26日	「虐待・拘束」
11月23日	「感染症」	11月28日	「守秘義務」
12月26日	「褥そう」	12月28日	「認知症」
1月23日	「事故防止」	1月25日	「排せつ」
2月22日	「看取り介護」	2月27日	「介護過程」
3月15日	「口腔ケア」	3月27日	「虐待・拘束」

平成30年度は内部研修を頻繁に行い、正職員・非常勤職員ともに多くを学びあいました。

学んだ知識と技術を仕事に活かせる様に取り組み、質の高いサービス提供が出来ました。

新入職員にはオリエンテーションを行い、指導担当者による指導と業務内で行うOJTの強化により、介護技術の習得が出来、新人職員の定着につながりました。指導にあたる先輩も指導を受ける後輩も、共に学び合うことで職員間の良好な人間関係が構築されま

苦 情 報 告

苦情対策会議を毎月開催し、利用者様やご家族様等、その他の方からの苦情・要望・意見、また「ご意見箱」に入れられていた意見等を取り上げました。苦情等の内容、行なった対応、改善すべき点や取り組むべき課題等を検討しました。さらに、苦情を受けた時の対応、連絡・報告の方法についても話し合いました。

【議題として取り上げた主な苦情・要望・意見】

- | | |
|-------------|---|
| (1) 利用者様より | ○職員の態度や言葉遣いに対する苦情、不満・・・・・・・・・・ 4件 |
| | ○環境整備に関する意見・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2件 |
| | ○他利用者への苦情・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2件 |
| | ○食事に関する意見、その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3件 |
| (2) ご家族様等より | ○職員の態度についての苦情・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2件 |
| | ○個人の持ち物の扱い方に関する苦情・・・・・・・・・・・・・・ 2件 |
| | ○連絡不足の指摘・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1件 |
| | ○環境整備に関する苦情・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1件 |
| (3) 評価 | ○ご家族様より利用者様対応についての評価や感謝・・ 26件 |
| | ○見学者等からの良い評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2件 |
| | ○地域の方々からの良い評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2件 |

*利用者様やご家族様からの苦情や要望は、サービスマナーや虐待防止を考える上で貴重な意見であり、それを検証することで日頃のケアを見直し、改善を図ることができました。

*第三者委員の方が、1か月に1回来園してくださり、利用者様のご意見やご要望を聞き取ってくださり利用者様にとっても、職員にとっても、施設運営の面においても良い効果がありました。

事 故 防 止

事故防止会議は、施設顧問医師の指導のもと、毎週水曜日に開催しました。ヒヤリハットや事故の主な事例を検証し、原因を究明すると共に、次の事故を防止する対策を検討しました。年間で47回、開催しています。

また、事例の中で、医療機関への受診が必要となった事例や、原因の特定に更に検討が必要な事例については、委員会にてより詳しい検証を行ないました。

平成30年度のヒヤリハット事例は、254件でした。

事例の発生時には、発見者は介護職員、看護職員、機能訓練指導員、生活相談員等に連絡し、多職種で検証を行いました。

その場で原因を考察し、ヒヤリハット報告書を作成、可能であればすぐに対応策を実施しました。

行政に報告を行なった事故は3件でした。3件は、転倒等によって受傷し骨折と診断され、入院、治療を受けたものです。いずれの方も退院され、事故前の生活に戻っています。

排 泄

排泄面の向上を目指し、プライバシーへの配慮と正しい排泄介助方法を学び、介護者としての心構えと、技術の習得に取り組みました。

利用者様一人ひとりに合わせた使用物品の選択はフロアーの排泄委員とフロアーリーダーの意見を参考にしながら行いました。

委 員 会 報 告

「笑顔を絶やさず喜びを引き出そう！」を実現できるよう、利用者サービスの質の向上を目的とし、各委員会を開催しました。

毎月1回、各部署の代表者で、会議をしたので、検討事項や決定事項の周知徹底が図れました。

研修委員会

人材育成とサービスの質の向上に取り組みました。

エルダーメンター制度により、指導担当職員が新人介護職員を指導にあたり、OJTを強化しました。

新入介護職員に対しての、入職時のオリエンテーションを施設長と介護リーダーが行うことにより、充実したオリエンテーションになりました。

一般職員に対しては、毎月の全体会の時間を利用し内部研修を実施しました。内部研修時には、勤務の調整をし、一人でも多くの職員が出席できるようにしたことが、周知徹底と共通の認識を持つという事に効果的でした。

正職員も非常勤職員も介護職以外の職員も全員で取り組むことが出来ました。

研修報告書をアンケート方式にした事は、参加職員の負担軽減になりました。

口腔衛生管理

委員会の会議録と口腔機能維持管理にかかわる助言内容の会議録により、全介護職員とその他関係職員が共通の認識を持てるようにしました。

褥瘡防止委員会

毎月委員会を行い、全職員に注意喚起できるように取り組みました。各部署の協力体制が出来て、皮膚の状態に心配のある方に対して早期対応が出来たとは、成果です。

拘束廃止委員会

拘束は長期にわたり「0」です。拘束を行なうことの弊害を職員全員が理解して介護サービスを提供しています。今後も意識を高く持ち、拘束「0」の状態を維持して行きます。

排泄委員会

排泄の向上に取り組みました。コストに対する意識がいったんは高まったのですが、年度の最終段階に近くなるころから、少しずつ薄らいで来たように感じましたので、今後また更に意識を高めていきます。

厨房委員会

利用者様の「食」に対する、希望を少しでも実現に近づけることが出来るように、各部署で協力し、検討や相談をすすめました。利用者様の声を献立に反映しました。

活動責任者委員会

4月には新旧の担当者の引き継ぎを行い、10月には11月3日の文化祭に向けての打ち合わせ等を行ないました。

忘年会活動報告書

場 所 : 昭島フォレストイン昭和館

日 時 : 平成29年12月6日(木) 19:00 ~ 21:30

費用合計 : ¥、513,744

参加人数 : 42名 1人当たり¥、12,232

- ・参加者は楽しく飲んだり、食べたりし、日常の労をねぎらうことができました。
- ・法人内の他施設等との親睦も深めることができました。

また、今年度から「永年勤続表彰」が始まり、永く働く喜びと法人への感謝の気持ちを再確認できました。「これからも頑張ろうという気持ちになりました。」と表彰を受けた職員からの声がありました。

職員旅行活動報告書

場 所 : 徳川ミュージアム～メロン食べ放題～那珂湊漁港

日 程 : 第1班 5月24日(木) 15名・第2班 6月 7日(木) 16名
第3班 6月21日(木) 13名

参加人数 : 44名

費用合計 : ¥、937,294 1人当たり ¥、21,302

幹事の感想

(1班) 皆さん笑顔で楽しく過ごせました。

(2班) ドライブの時間が長かったですが、車酔いする方もなく楽しく行ってきました。

(3班) お菓子の小分けを人数分作り好評でした。楽しかったと皆様の感想が聞けました。

ク ラ ブ 活 動

それぞれの利用者様、一人ひとりの生活の充実と残存機能を発揮する場としての活動を行うことができました。生活リハビリの一環として、それぞれの活動への参加は非常に有効な時間となりました。

茶 道

活動回数	18回	参加延人数	230名	平均参加人数	13名
活動報告	文化祭では多数の方が参加してくださり「美味しい」と笑顔になっていました。				
月別活動報告					
	内 容			内 容	
4月	7日 12名・21日 11名・8日 2名	10月	20日 12名		
参加人数	45名		参加人数	12名	
5月	26日 12名	11月	3日 32名・17日 12名 *文化祭の御菓子 80個		
参加人数	12名		参加人数	46名	
6月	2日 12名・16日 13名	12月	1日 12名・15日 12名		
参加人数	25名		参加人数	24名	
7月	14日 12名	1月	5日 12名・19日 12名		
参加人数	12名		参加人数	24名	
8月	18日 12名	2月	2日 12名		
参加人数	12名		参加人数	12名	
9月	15日 12名・29日 12名	3月	講師のご都合で活動はありませんでした		
参加人数	24名		参加人数	実施1回	1名

華 道

活動回数	24回	参加延人数	288名	平均参加人数	24名
活動報告	皆様、がんばって取り組んでいました。				
月別活動報告					
	内 容			内 容	
4月	活動2回		10月	活動2回	
参加人数	24名		参加人数	24名	
5月	活動2回		11月	活動2回（文化祭）	
参加人数	24名		参加人数	活動 27名	
6月	活動2回		12月	お正月の花を活けました 活動2回	
参加人数	24名		参加人数	24名	
7月	活動2回		1月	活動2回	
参加人数	25名		参加人数	24名	
8月	活動2回		2月	活動2回	
参加人数	24名		参加人数	24名	
9月	活動2回		3月	活動2回	
参加人数	24名		参加人数	24名	

書 道

活動回数	23回	参加延人数	320名	平均参加人数	14, 5名
活動報告	講師の先生とボランティアさんの協力により、有意義な時間となりました。				
月別活動報告					
	内 容			内 容	
4月	7日 14名・21日 12名・		10月	6日 10名・20日 12名	
参加人数	26名		参加人数	22名	
5月	5日 20名・19日 18名		11月	17日 12名	
参加人数	38名		参加人数	12名	
6月	2日 12名・16日 13名		12月	1日 13名・15日 16名	
参加人数	25名		参加人数	29名	
7月	14日 17名・21日 11名		1月	5日 13名	
参加人数	28名		参加人数	13名	
8月	4日 14名・18日 14名		2月	2日 12名・16日 15名	
参加人数	28名		参加人数	27名	
9月	8日 16名・15日 16名		3月	2日 18名・16日 18名	
参加人数	32名		参加人数	36名	

紙芝居

活動回数	12回	参加延人数	559名	平均参加人数	46, 5名
活動報告	1階・2階・3階を順に回り、一時の時間を楽しく過ごしていただきました。				
月別活動報告					
	内 容			内 容	
4月	4月29日に活動		10月	10月21日に活動	
参加人数	56名		参加人数	42名	
5月	5月7日に活動		11月	11月25日に活動	
参加人数	58名		参加人数	43名	
6月	6月10日に活動		12月	12月23日に活動	
参加人数	60名		参加人数	31名	
7月	7月22日に活動		1月	1月13日に活動	
参加人数	16名		参加人数	8名	
8月	8月5日に活動		2月	2月3日に活動	
	54名		参加人数	42名	
9月	9月23日に活動		3月	3月24日に活動	
参加人数	57名		参加人数	49名	

音楽療法活動報告

活動回数	22回	参加延人数	494名	平均参加人数	22名
活動報告	音楽に合わせて身体を動かす事により ADL 低下防止につながってます。 季節の歌を取り入れる事により季節感を感じる事ができた。				
月別活動報告					
	内 容			内 容	
4月	9日 20名・20日 27名		10月	11日 20名・25日 18名	
参加人数	47名		参加人数	38名	
5月	11日 18名・30日 18名		11月	8日 18名・22日 20名	
参加人数	36名		参加人数	38名	
6月	8日・29日		12月	13日・20日	
参加人数	38名		参加人数	50名	
7月	30日 21名		1月	24日 18名・31日 22名	
参加人数	21名		参加人数	40名	
28	10日 20名・17日 21名		2月	21日 21名・28日 22名	
参加人数	41名		参加人数	53名	
9月	22日 39名		3月	22日 23名・29日 30名	
参加人数	39名		参加人数	53名	

ス ポ ー ツ

活動回数	24回	参加延人数	572名	平均参加人数	23名
活動報告	体を動かし笑顔がたくさん見られました運動会を、10月5日に盛大に開催できました。				
月別活動報告					
	内 容			内 容	
4月	3日18名・8日24名・9日27名・ 15日20名・22日16名		10月	7日11名・22日32名	
参加人数	105名		参加人数	43名	
5月	5日32名・13日5名・17日28名		11月	6日 33名・11日 42名・26日 26名	
参加人数	75名		参加人数	101名	
6月	3日6名・4日30名・10日13名		12月	16日 23名	
参加人数	59名		参加人数	23名	
7月	9日 22名		1月	6日 33名	
参加人数	22名		参加人数	33名	
8月	19日 13名・29日 28名		2月	感染症予防のため、活動を行いませんでした	
参加人数	41名		参加人数	一名	
9月	3日 16名		3月	10日 19名・17日 35名	
参加人数	16名		参加人数	54名	

茶 道

活動回数	18回	参加延人数	230名	平均参加人数	13名
活動報告	文化祭では多数の方が参加してくださり「美味しい」と笑顔になっていました。				
月別活動報告					
	内 容			内 容	
4月	7日12名・21日11名・28日2名		10月	20日 12名	
参加人数	45名		参加人数	12名	
5月	26日 12名		11月	3日 34名(80個)・17日 12名	
参加人数	12名		参加人数	46名	
6月	2日 12名・16日 13名		12月	1日 12名・15日 12名	
参加人数	25名		参加人数	24名	
7月	14日 12名		1月	5日 12名・19日 12名	
参加人数	12名		参加人数	24名	
8月	18日 12名		2月	2日 12名	
参加人数	12名		参加人数	12名	
9月	15日 12名・29日 12名		3月	講師のご都合で活動はありませんでした	
参加人数	24名		参加人数	実施1回	一名

手 作 り お や つ

活動回数	10回	参加延人数	612名	平均参加人数	61, 2名
活動報告	食品の選択により出来上がりが柔らかく食べ易いように工夫しておやつを作りをしました。				
月別活動報告					
	内 容			内 容	
4月	どら焼き		10月	焼き芋	
参加人数	60名		参加人数	66名	
5月	カステラケーキ		11月	白玉入りお汁粉	
参加人数	57名		参加人数	67名	
6月	カラフルカップケーキ		12月	白玉入りお汁粉	
参加人数	56名		参加人数	80名	
7月	オムレット		1月	感染症予防のため活動しませんでした	
参加人数	54名		参加人数	— 名	
8月	みたらし白玉と一口ようかん		2月	感染症予防のため活動しませんでした	
参加人数	54名		参加人数	— 名	
9月	おしるこ		3月	豆腐入りドーナツ	
参加人数	63名		参加人数	55名	

外 出 の 日

活動回数	9回	参加延人数	63名	平均参加人数	6, 3名
活動報告	季節に合わせた外出場所を設定し、四季の移り変わりを感じ、楽しんでいただけました。				
月別活動報告					
	内 容			内 容	
4月	瀬音の湯（足湯）		10月	第2文化祭4名・第3文化祭5名	
参加人数	5名		参加人数	9名	
5月	秋留台公園（バラ園）		11月	瀬音の湯（足湯）	
参加人数	4名		参加人数	5名	
6月	吹上しょうぶ園		12月	不二家レストラン	
参加人数	4名		参加人数	5名	
7月	第3納涼祭		1月	初詣（2日・3日）	
参加人数	3名		参加人数	12名	
8月	不二家レストラン		2月	感染症予防のため活動をしませんでした	
参加人数	5名		参加人数		
9月	ぶどう狩り6名、敬老大会 5名		3月	感染症予防のため活動をしませんでした	
参加人数	11名		参加人数	— 名	

工 作

活動回数	参加延人数	98名	平均参加人数	8名
活動報告	<p>新入所の方にも必ず声を掛け、活動を知っていただき、参加につなげるように働きかけを行いました。</p> <p>手先の運動になるような作品の検討をしながら、楽しい時間の中でリハビリ効果があるように取り組みました。</p>			
	月別活動報告			
	内 容		内 容	
4月	紙粘土で鯉のぼりを作る	10月	色画用紙でかびちゃの形を作る	
参加人数	26日 11名	参加人数	23日・25日・29日 19名	
5月	アジサイの花を作る	11月	消しゴムのスタンプでクリスマスカードを作る	
参加人数	29日 10名	参加人数	27日 11名	
6月	アジサイの花を作る 七夕飾りを作る	12月	未実施	
参加人数	21日・25日 10名	参加人数	—	
7月	8月のカレンダーを作る	1月	雪だるまを作る	
参加人数	31日 6名		29日 12名	
8月	張子風鈴を作る	2月	鬼のお面を作る	
参加人数	27日 3名	参加人数	1日 1名	
9月	模造紙に花畑を作り上げる	3月	ペットボトルと絵の具で桜並木を表現	
参加人数	18日 9名	参加人数	29日 6名	

朗 読

名 称	朗 読	活 動 回 数	5回
参加合計	91名	活 動 場 所	2階ホール等
	<p>4月 紙芝居と春の歌を唄う（20名参加）</p> <p>5月 いろはかるたを行い、春の歌を唄う（34名参加）</p> <p>6月 日本昔話しを聞き、歌を唄う（13名参加）</p> <p>7月 短編小説を聞き、夏に関する歌を唄う（24名参加）</p> <p>*ボランティアの皆様と利用者様とで、歌を唄ったり、軽い体操をしたりと普段と違う時間を過ごし、日常生活の充実が図れました。</p> <p>（8月以降はボランティアさんの都合で中止となりました）</p>		

カラオケ

名 称	カラオケ	活 動 回 数	1週間に2回実施
参加者	各フロアー利用者様	活 動 場 所	各フロアー
<p>平成30年度は各フロアーで週に2回ずつ実施しました。 カラオケ機器の移動が能になったため、住み慣れた場所で行なうことが出来て 参加人数も多くなり、生活の中での楽しみが広がりました。 「やっぱり歌っていいね。」という利用者様からの声も聞かれ、フロアーレクの 活性化にもつながりました。 今後さらに活動を広げ、体操等で体を動かすことも行っていきたいと思います。 (1階 月曜日と木曜日・2階 水曜日と木曜日・3階 火曜日と金曜日)</p>			

園 芸

季節の移り変わりを草花や野菜や果物で感じられるようにと考えて取り組みました。

四季折々の花を利用者様とともに植え、水やりをして丹精込めることにより「きれいだね」と感動して眺めました。

夏には、ゴーヤで緑のカーテンを造り、収穫し、味わうことができました。

なす、ピーマン、イチゴなども収穫し、目と舌で楽しみました。

屋外で、土に触れ、風邪を感じ、参加した利用者様と担当職員とともに会話が弾み自然に触れながらよいコミュニケーションの場になりました。

ラ ジ オ 体 操

担当者が入浴予定のフロアーで、朝にラジオ体操を行ないました。

担当者と利用者様が一緒にラジオ体操を行なうことで、利用者様の健康維持と職員との関係を良好に保つことを目的とし活動しました。

実施月	参加人数	実施月	参加人数
4月	250名	10月	336名
5月	357名	11月	312名
6月	294名	12月	239名
7月	298名	1月	268名
8月	276名	2月	279名
9月	161名	3月	182名

防 災

「突然大きな地震に襲われる」「火災が発生する」「不審者が侵入する」等々予期せぬ事態を想定し、訓練を行いました。

どのような場合でも、事業が継続できる組織であるようにと考え、訓練に取り組みました。

1. 訓練の記録

- 5月18日 (地震発生・負傷者あり応急処置・火災発生・初期消火)
- 5月30日 (地震で落下物あり・通報訓練・避難訓練)
- 7月25日 (平成30年度自衛消防訓練審査会に伴う事前説明会)
- 8月3日～
- 8月11日 (地震発生・火災発生・初期消火等自衛消防訓練審査会にむけて8回の訓練を行った)
- 8月14日～
- 8月26日 (同上の訓練を13回行った)
- 8月27日～
- 9月5日 (同上の訓練を10回行った)
- 9月7日～
- 9月13日 (同上の訓練を6回行った)
- 9月6日・10日 (消防署の指導を受けて訓練を行った)
- 9月14日 (自衛消防訓練審査会出場)
- 10月22日 (炊き出し訓練)
- 12月22日 (地震発生・避難訓練)
- 2月27日 (夜勤帯・地震発生・総合訓練)
- 3月25日 (消火器と屋内消火栓・消火訓練)

2. 防災会議の記録

4月27日・5月25日・6月22日・7月27日・8月24日・9月28日・10月26日・
11月23日・12月21日・2月22日・3月15日・

3. 不審者対策

- ・震災、火災に対する訓練を例年同様に行った上で、不審者対策を強化しました。

使 用 物 品 等

事務所で発注して納品された物品は、介助員が所定の場所に片づけて管理をしました。

物品を持ち出したときに行う記録の残数が合わないことが多くあり、課題が残っています。

シーツ等リネン類の発注管理

シーツ交換を一は、業者に委託しています。在庫管理等の数量管理も委託先の業者が行っています。

定期的なシーツ交換以外の交換は介護職員が行い、利用者様の心地よい環境を支援しました。

おむつ等管理

清拭布・紙おむつ類の使用にあたっては、職員はコスト意識を持って使用しています。排泄委員の働きかけにより、それぞれの職員の意識も高まりました。無駄な使い方をしないように注意しています。

年間行事の実施状況

行 事	実 施	内 訳	金 額	小 計
観桜会	30年 4月 1日 (日) 2階ホール	通信費 模擬店食材 公演等御礼 その他	4,756 147,084 84,822 1,050	237,712
運動会	30年 6月 8日 (金) 2階ホール	備品購入	13,068	13,068
納涼祭	30年 7月 8日 (日) 2階ホール	通信費 模擬店食材 公演等御礼 その他	4,920 151,954 119,822 29,848	306,544
地域祭 礼	30年 7月29日 (土) 玄関前	飲み物菓子等	中止	
敬老会	30年 9月16日 (日) 2階ホール	花 公演等御礼	5,000 46,237	51,237
文化祭	30年11月 3日 (祝) 文化の日 玄関ホールと2階ホール	通信費 模擬店食材 公演等御礼 その他	5,248 140,449 102,274 19,106	267,077
クリス マス	30年12月24日 (月) 2階ホール	会場備品準備	49,835	49,835
餅つき	30年12月28日 (金) 2階ホール	もち米. 他	中止	
正月	31年1月 1. 2. 3日 (祝. 水. 木) 各フロアと2階ホール	門松. お飾り 花 公演等御礼 その他	63,122 3,000 10,000 6,474	82,596
節分祭	31年 2月 3日 (日) 各フロアと2階ホール	鬼打ち豆 その他	1,296 5,011	6,307
ひな 祭り	31年 3月 3日 (日) 2階ホール	あられ. 他 花	12,240 3,500	15,740

合計 円 1,030,116

ボランティア受入状況

4月	書道・茶道・音楽療法・清掃・草笛・踊り・マジック・腹話術 ガーゼ切り・行事の手伝い・ゲーム・民謡・等	49名
5月	書道・茶道・音楽療法・清掃・朗読・ゲーム等	31名
6月	書道・茶道・音楽療法・清掃・草笛・踊り・マジック・腹話術 朗読・手作りおやつ・ゲーム等	30名
7月	書道・茶道・音楽療法・清掃・朗読・行事の手伝い等	39名
8月	書道・茶道・音楽療法・清掃・草笛・踊り・マジック・腹話術 朗読等・慰問等	32名
9月	書道・茶道・音楽療法・ガーゼたたみ・地域の子どものための歌 朗読・清掃・ゲーム等	38名
10月	書道・茶道・音楽療法・清掃・草笛・踊り・マジック・腹話術 朗読・手作りおやつ等	28名
11月	書道・茶道・音楽療法・清掃・朗読・慰問・行事の手伝い等	63名
12月	書道・茶道・音楽療法・清掃・草笛・踊り・マジック・腹話術 朗読・手すりドアノブ消毒等	34名
1月	書道・華道・音楽療法・清掃・ゲーム等	17名
2月	書道・華道・茶道・音楽療法・清掃ゲーム等	17名
3月	書道・華道・茶道・音楽療法・清掃・手作りおやつ・ゲーム等	20名

*年間延べ、398名の方々のボランティア活動を受け入れ、利用者様の生活の楽しみにつながりました。

実習生・研修生受入記録

No.	(年 ~)			実習依頼先	実習内容	人数	日数
1	30	6/12	6/12	ヘルパー学院サンシャインビラ	介護職員初任者研修実習	3	1
2	〃	8/ 6	8/10	東京都社会福祉協議会	介護福祉士実習	1	5
3	〃	10/ 8	10/12	東京都社会福祉協議会	社会福祉施設介護体験	1	5
4	〃	12/ 3	12/ 7	ヘルパー学院サンシャインビラ	介護職員初任者研修実習	2	1
5	31	3/11	3/11	ヘルパー学院サンシャインビラ	介護職員初任者研修実習	3	1
6	30	3/ 4	3/31	東京心理音楽療法福祉専門学校	介護福祉士現場実習	1	14
計						11	名

※ インターシップとして秋留台高等学校の生徒を受け入れた。

地域行事参加状況

5月29日	杉の子第3保育園「こどもの日の集い」参加	6名
6月29日	福老連「芸能大会」見学	6名
7月 6日	杉の子第3保育園「七夕会」参加	4名
8月 3日	福生七夕まつり「民謡パレード」参加（職員）	15名
9月 9日	福生市「敬老大会」参加	6名
10月18日	杉の子第3保育園「発表会」見学	4名
1月2・3日	熊川神社「初詣」	12名

設備改善及び備品購入状況

項目	月	日	件名	数量	金額	使用場所	納入業者
備品	7	23	天吊り型エアコン	2	1,053,000	浴室前. 厨房天井	岡野電機
	8	23	床置き型エアコン	1	432,000	訓練室	岡野電機
	10	11	ブラストチラー	1	896,400	厨房	国立厨房
	3	29	パソコン	3	320,436	事務所	マイルストーン
	3	19	シャトルバス (新湯)	1	2,437,614	機械浴室	デーエヌ企画
	3	19	シャトルバス用 シャワーチェア	2	2,017,386	機械浴室	デーエヌ企画
	小計					7,156,836	
設備改善費	10	8	理事長室 タイルカーペット工事	1式	255,960	理事長室	金子設備工業
	8	23	エレベータースイッチ 交換工事	1式	135,000	エレベーター1号機	エスイーシー エレベーター
	1	29	エレベーター リニューアル工事	1式	7,884,000	エレベーター1号機	ジャパンエレベーター サービス ホールディングス
	1	31	ボイラー室 給湯スレンス配管工事	1式	2,475,200	ボイラー室	金子設備工業
	1	31	機械浴室給湯管 新設配管工事	1式	735,650	機械浴室	金子設備工業
	小計					11,485,810	
合計	合計				18,642,646		

短期入所生活介護事業報告

1. 基本方針

福陽会の理念である「その方が、その方らしく生活できる環境づくり」をモットーに、利用者様が健康で笑顔あふれる日常を過ごせるよう目標を定める。

- ・利用者様の心身共に健康な生活を保持する。
- ・利用者様の個性を尊重した生活を配慮する。
- ・生活に希望と生きがいを持てるよう環境の整備と季節感のある行事を行う。

(1) 月別利用者延人数調査

4月	43名	・	5月	31名	・	6月	33名
7月	54名	・	8月	59名	・	9月	41名
10月	64名	・	11月	48名	・	12月	31名
1月	38名	・	2月	28名	・	3月	6名

1年間に、延べ人数で合計476名の方に利用していただきました。

制度の中でのベッド稼働を考え、地域のニーズに最大限応えられるようにと考えて緊急利用の利用者様の受け入れを積極的に行いました。

- #### (2) 協力病院・地域の医療機関等と連携を図り、ご家族様とも協力し合い、健康管理を行いました。

2. 重点目標

「笑顔を絶やさず喜びを引きだそう！」を合言葉に職員一同力を合わせてサービスの質の向上に取り組みました。

- (1) 緊急な受け入れを行いました。
- (2) 重度要介護者の受け入れも行いました。
- (3) 2床の短期入所生活介護のベッドのため、男女の組み合わせ等により短期入所を受けにくい場面もありました。
- (4) 内部研修とOJTを強化しました。
- (5) 各部署のチームワークが強化できました。

生活の場として安全であるよう環境を整え安心して過ごし、安心して居宅へ戻っていただけるよう、支援しました。

